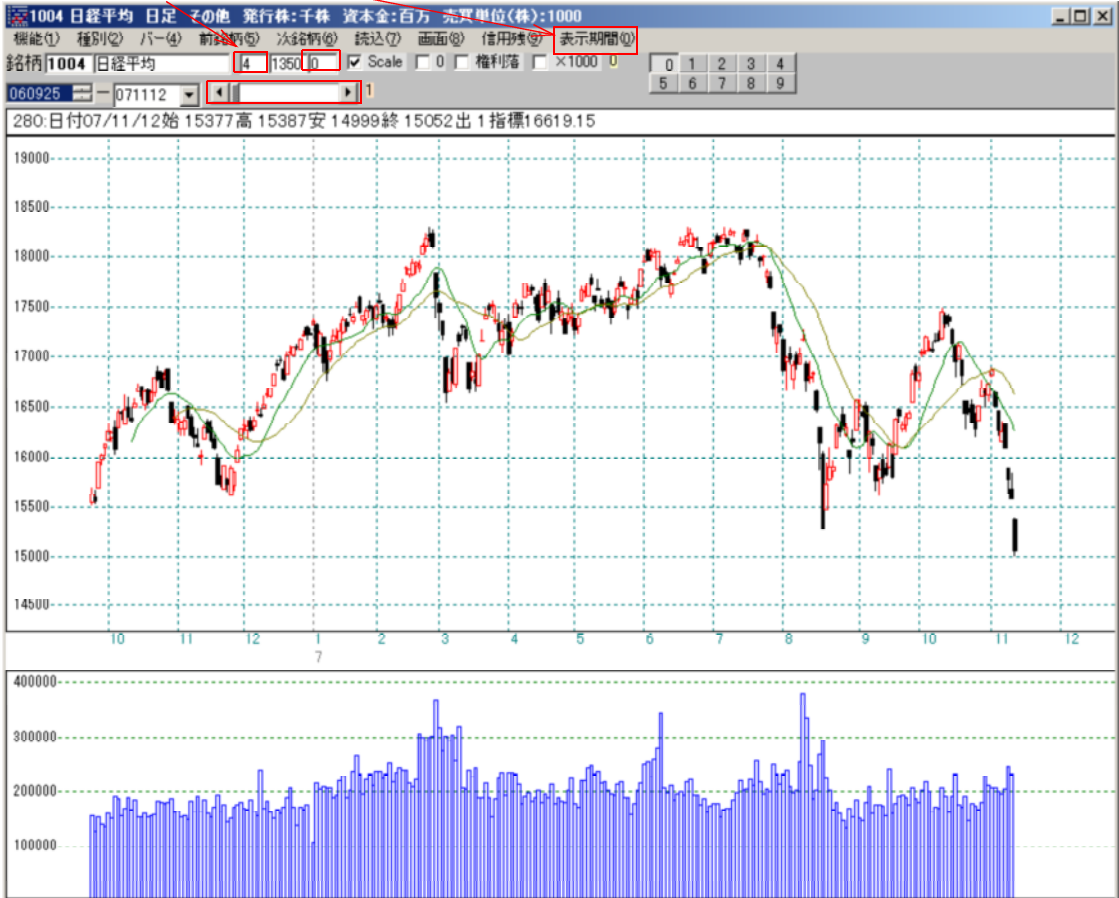


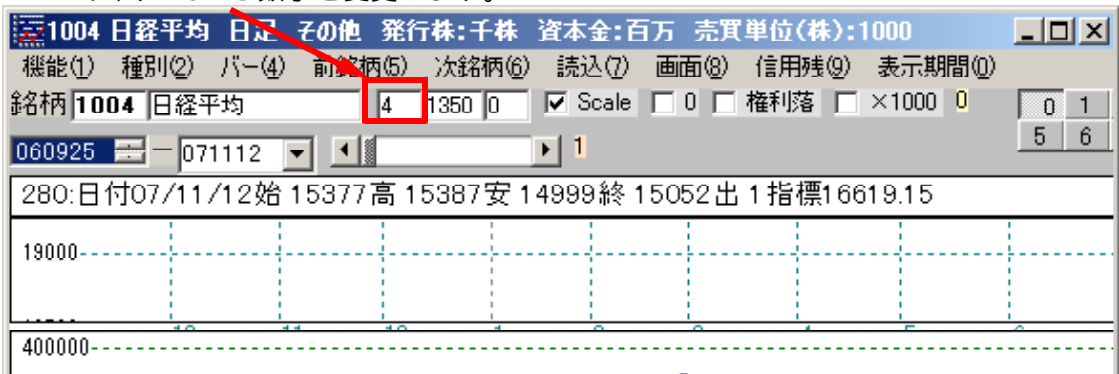
」P法株価分析システムメインメニューの「分析チャート」には様々な便利な機能が備わっています。

今回は、その中であまり活用していないかも？と思われる機能、「ローソク足の大きさを変更する」、「チャートをスクロールさせる」、「表示期間を決めて表示させる」、「ローソク足同士を離して表示する」機能について解説します。

について解説します。



ローソク足の大きさを変更する  
ここに入っている数字を変更します。



今「4」と入っていますが、例えば「8」と入力し、「読込」をクリックします。

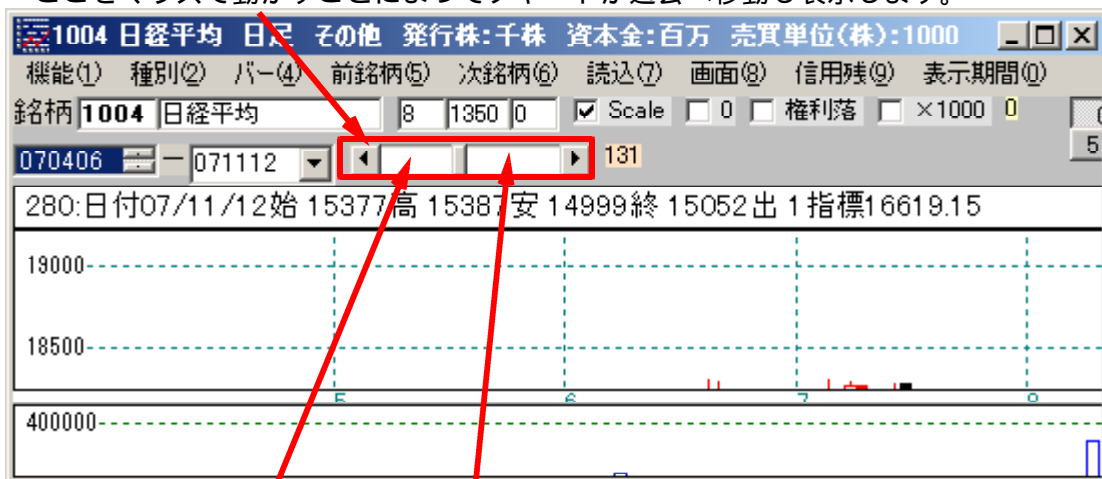
ローソク足のサイズが大きくなりました。 8ポイントで表示



「4」だったら4ポイントの大きさで描く、  
「8」だったら8ポイントの大きさで描きます。  
自由に変更出来ます。一番見やすい数字を入れおためしてください。

チャートのスクロール

ここをマウスで動かすことによってチャートが過去へ移動し表示します。



このすきまをクリックすると+ - 10飛びで表示します。

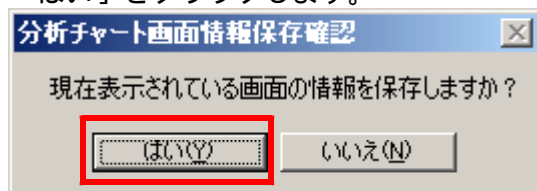
過去のデータが表示されました。



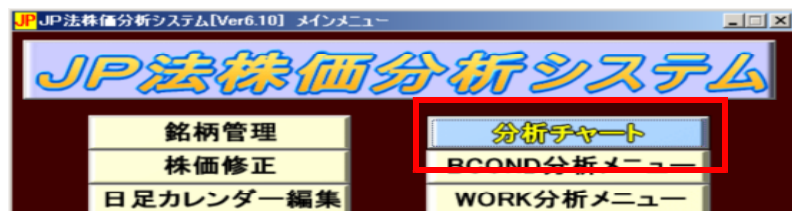
これらの設定をを保存し、次に分析チャートを起動しても、その設定で表示させるには以下の手順となります。

1. 分析チャートの終了方法  
「機能」 「終了」をクリックします。

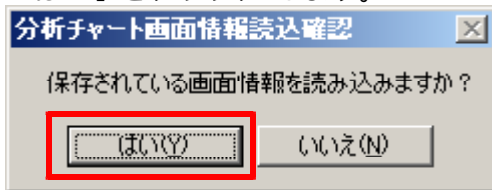
「はい」をクリックします。



2. メインメニューから分析チャートをクリックします。



「はい」をクリック します。



先程保存した状態でチャートを描きます。  
ローソク足のサイズは「8」ポイント、過去のチャートを表示



常に直近から100本表示  
銘柄を変更しても、常に直近から100本のローソク足を表示させる機能です。

ここをクリックします。



以下の画面となります。

表示期間

チャートを表示する期間(ローソク足本数)を入力してください。  
「0」を入力するとフリーサイズとなります。

100

OK

キャンセル

100と入力し「OK」をクリックします。

以下の画面となります。直近から100本表示します。



この表示方法は、自動的にローソク足の大きさを決めてしまいます。  
ローソク足の変更は出来なくなります。

ローソク足のサイズを変更するには、以下のように「0」と入力してください。

表示期間

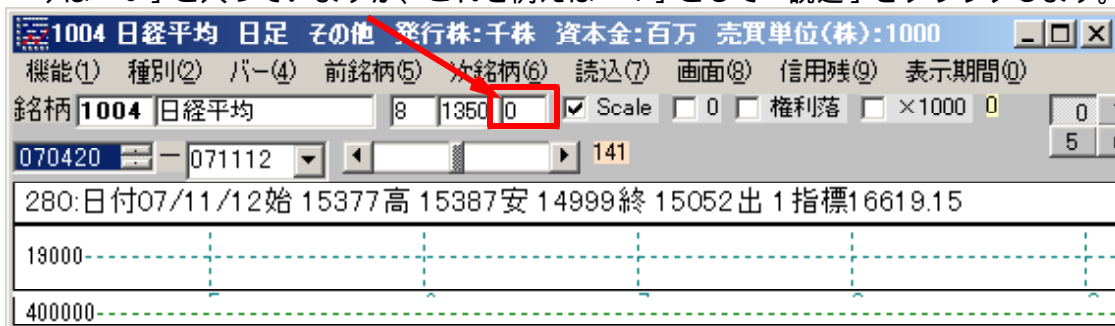
チャートを表示する期間(ローソク足本数)を入力してください。  
「0」を入力するとフリーサイズとなります。

0

OK

キャンセル

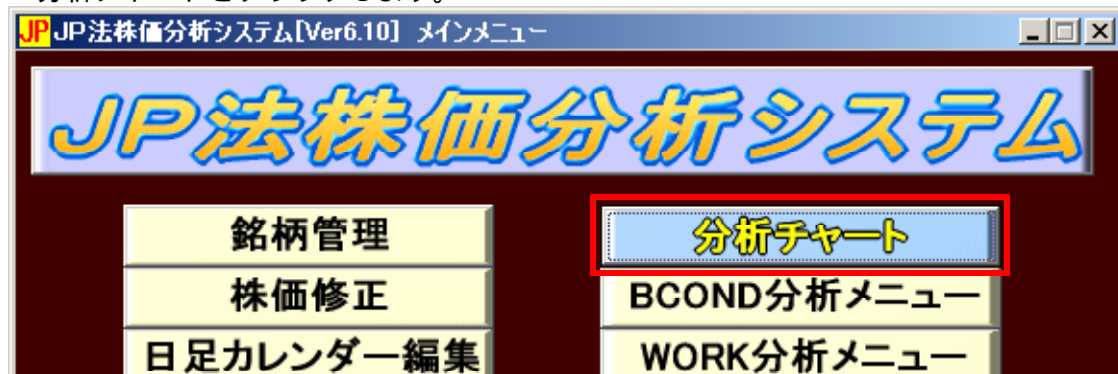
ローソク足間にすきまをあける  
 この数字を変更します。  
 今は「0」と入っていますが、これを例えば「4」として「読込」をクリックします。



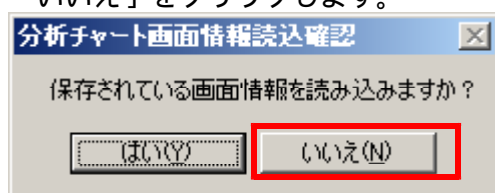
このようにローソク足同士にすきまができました。



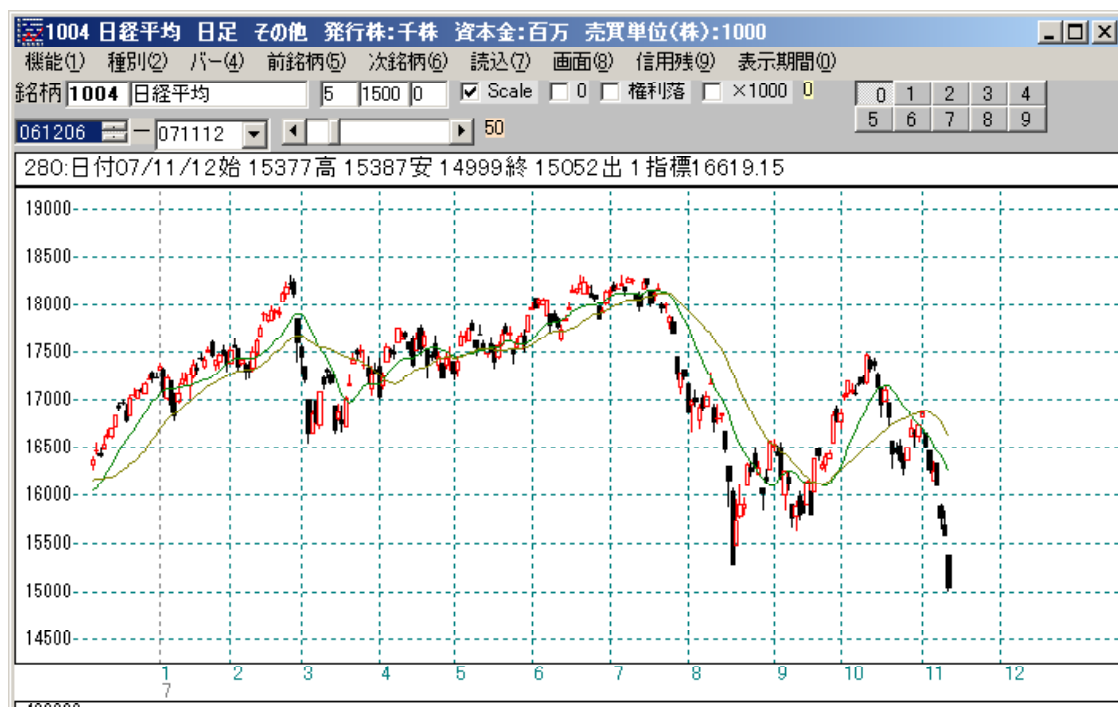
チャート表示を初期値に戻す方法  
分析チャートをクリックします。



「いいえ」をクリックします。



初期値に戻りました。



このように分析チャートでは、ユーザー様好みのローソク足表示をすることが出来ます。  
便利な機能です。是非ご活用下さい。